

ほ ゆ う

会報 84号

平成 13 年(2001) 6 月例会時発行

〒277-0835 柏市松ヶ崎 1194-222

北総歩こう会事務局

TEL 090-3345-8750

5 月例会 「古代東海道 W」を担当して

コースリーダー 成川 定雄



5 月の例会は、今から約 1,000 年前に作られた道（官道）を、市川市国府台から柏市藤心まで歩きました。実は私の担当コースは、「流山の湧水を歩く」と決まっていたのを今年の 12 月に担当コースの変更を申し入れました。「古代の東海道」を例会のコースにして歩いてみたいと思ったのは、今年の 11 月に柏市で開かれた歴史講演会で古代史研究家の高田 淳先生の「古代東海道・茜津駅と柏市域」という講演を聴いてからです。それによると『古代中央集権国家は、情報伝達・収集の為に都と国府、国府と国府を結ぶ道路（官道）を整備した。そのうちのひとつ

が東海道で、都から常陸国の石岡までを結んでいた。その特徴として ① 道幅 9~12m の直線的道路。（多少の地形的障害は貫いて最短距離を指向） ② 30 里（約 16km）毎に駅が設置されていた。下総国府（千葉県市川市）から常陸国府（茨城県石岡市）までの間に五つの駅が有り、下総国府から 1 番目の駅が茜津駅（柏市藤心）にあった。』そうです。現在の東海道が整備されたのは 400 年前、それよりも 600 年も古い約 1,000 年も前に整備された古代の道があったこと。そしてその道が現在も残っていて、柏の市域を通ると聞いてロマンを感じたからです。初め、講演会で聞いたコースどおりに歩いて、25,000 分の 1 の地図にコースを記入したところ大変驚きました。コースの道幅はだいぶ狭くなっていましたが、直線的になっていたからです。このコースが講演会で聞いた古代の東海道に違いないと確信し、コースの変更を申し入れた次第です。例会のコース担当となって、1 番に考える事は参加者の安全歩行、続いてトイレ・集合場所・雨の場合の昼食場所・解散場所等々あります。今回のコースは、古代東海道の道幅（9~12m）とはいかず、狭い上に車の往来が激しいので歩行は 1 列でお願いしました。途中でダンゴ状態にならない為に、集団が信号待ちなどで途切れても、列詰めは極力致しませんでした。21 世紀の森と広場は公園の使用に対して、団体使用の届けを出しました。今回のトイレは 5ヶ所確保しましたが、午前中に集中して午後には 1ヶ所も無いという事になりました。例会当日の雨については、昼食場所の確保に苦労しますが、私の過去の担当例会では 2 回雨でしたが（担当者の心掛けが悪いのでは？と言われました）其の時は雨用に昼食場所を確保してありました。今回は雨対策を何もやりませんでした。例会当日は、降らなくて良かった、良かった。

来年は「古代東海道 W②」として柏市藤心から我孫子市新木（於賦駅：おぶえき）まで歩きたいと考えております。（来年度の事業計画に提案致します）決定されました時には、大勢の方々のご参加をお待ちしております。



ふあみりーウォーク

誰でも自由に参加できますが、参加費（100円）を戴きます。およそ2時間程度（約6～8km）のウォーキングをのんびりと楽しみながら、コース途中では皆様の参考になればと「ウォーキング教室」も開催します。ぜひ一度、お友達と誘い合わせてお出かけ下さい。

※この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。

「ふあみりーウォーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。

集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

☆6月16日（土） 花見頃の水元公園へ、 約8km （担当・中山 弘）

集合・出発：JR 常磐線松戸駅 解散：JR 常磐線金町駅

☆7月21日（土） 手賀沼周辺を歩く 約7km （担当・高桑 三郎）

集合・出発：JR 柏駅（そごう前） 解散：JR 北柏駅

☆8月18日（土） 戸定館から松戸宿を歩く 約7km （担当・小林 直之）

集合・出発：JR 常磐線松戸駅東口 解散：JR 常磐線松戸駅西口

★開催日には、下車駅の改札口付近で担当役員がご案内を致します。

安心してお出かけください。

※問い合わせ先 0471-84-4353 （菊池 靖）19時～20時のみ

☆5月特別例会 「いちご狩りウォーク」を担当して 例会リーダー 大神 智恵子

この特別例会を開催するきっかけは、1月例会の白鳥の飛来地で、世話人代表の出山さんとの出会いでした。会に相談したところ、了承が得られましたのでさっそく例会で参加者を募集しました。当日の小林駅には、賛同してくれた参加者25名が集合。

人数は少なくとも何時もの例会同様に出発式を行い、いざ出発！

1月に訪れた白鳥の飛来地は田植えの済んだ水田に変身しており、これには皆さんも驚いたようでした。



和（やわら）青年館での昼食には心尽しの豚汁が出され、一休みの後、さあーいちご狩りへいざ！出陣！

甘い香りと、とろけるような甘い味。パックにいっぱい摘んで大満足。

いちごの様子が気になり一回だけ見に行きましたが、コースの下見は一切ナシ。参加された皆様と本埜村地元の方々のご協力のお陰で無事終了しました。又、来年も企画したいと思いますので其の時は是非参加して下さい。

例 会 の 案 内 板

☆7月例会 ビール工場見学ウォーク

5月号でお知らせ致しました当例会は集合場所及び集合時間を変更致しましたのでご注意ください。

なお当日は暑さも予想をされますので充分の水をご用意下さい。

*開 催 日：平成13年7月29日(日) 12km

*集合場所：関東鉄道戸頭駅（改札口より案内があります）

*集合時間：午前9時30分

*解 散：関東鉄道守谷駅午後4時頃

(例会リーダー 清水 完浩)

☆8月例会 運河&星空W（ミニナイト）

理窓会記念自然公園・東京理科大学構内に散策が出来るように、池の周りに小道が作られている。風景を巧みに利用した素晴らしい公園があります。

さらに理科大・霊波之光をとおり東武野田線に平行する道を瑞季の街へ。途中でトントン橋（歩行者専用では日本一長い木の橋）を渡りみずき公園へ。みずき公園では（晴天なら）星空観測をし、青春の頃を思い出して星空の歌でも唄いましょう。

*開 催 日：平成13年8月11日(日) 10km

*集合場所：東武鉄道野田線運河駅（改札口より案内があります）

*集合時間：午後4時30分 （懐中電灯を各自忘れずに持参の事）

*解 散：同じ運河駅午後8時頃

(例会リーダー 後藤 章)

※例会行事問合せ先 047-367-7556 森 禎之 19時～20時のみ

会員の皆様へ 例会参加票の出し方についてお願い

運営委員長 森 禎之

会員の皆様の北総歩の例会の参加については、必ず参加票を提出して頂いておりますが、会員番号及び氏名の欄が空白で提出される方がおります。必ず会員番号及び氏名の欄にはご記入の上に提出をお願い致します。もし、洩れていた場合には集計不可能となり、皆様の参加記録には記入されない事になりますので、必ず記入確認の上にご提出下さい。

もし、例会当日に参加票を忘れてきた場合には担当者にその旨をお話して、メモで結構ですので会員番号と名前を記入して、提出するようにお願い致します。

花巻イーハトーブ ツーデーマーチに参加して

松戸市在住 合田 昌子

今年も夏が近づきましたので、昨年経験した思い出を書いてみたいと思います。

30度を越す日が続いていた昨年8月、涼しさを期待して「花巻イーハトーブ ツーデーマーチ」に参加しました。ところが地元の人が「こんな暑い夏は今までに無かった」と言う位それは暑〜い汗ダラダラ…の大会でした。この大会で私は初チャレンジした事があります。それはユースホステルに泊った事です。歩けの大会に参加するたびに、ユースホステルの事は耳にしていました。宿泊料金の安さに引かれるものは有りましたが、若者が泊る堅苦しい宿というイメージが有りました。一度も泊らずにあれこれ思っているも、ユースホステルの本に載っている「花巻ならの里ユースホステル」の四つ星（三つ星が標準・施設の内容のみで着けてあるそうです）のマークを見て決心！

私にとって不安いっぱいの勇気有る決断でした。でも、泊ってみてビックリしました。年配の女性が一人で泊っている事に驚きました。気軽に女性一人でも安心して泊れるからとの事でした。納得！ 食事は旅館に泊ると出てくるお決まりの「てんぷら・さしみ・茶わんむし」などは有りませんでした。ちなみに初日の夕食は、ひつつみ（郷土料理）・うなぎ・里芋と肉団子の煮物・酢の物・かぼちゃの煮物・漬物・スイカでした。味も良くて美味しかったです。これで一泊二食付きで4,600円（私は会員料金）は安い！と思いました。夜は東和温泉に送り迎えで連れて行ってもらいました。露天風呂に足を伸ばして「泊って良かったな〜」を実感した夜でした。

大会中は会場まで送って下さった事は勿論ですが、帰る日もバスの時間に合わせてバス停まで送って下さいました。バスの中では温泉の事、食事の事、同室だった一人旅の女の子の事などあれこれ思い返して、幸せな気分でした。同宿の若者達からは、いっぱい「元気」を貰ったようで、ちょっぴり若返ったような気分でした。

今年6月のオホーツク大会後では、網走の「流氷の丘ユースホステル」に泊ります。オホーツク海に沈む夕陽と、オホーツク海から昇る日の出を見る予定です。そして、ルピナスの花に会えるのを楽しみにしています。特別料理を頼みましたが、¥1,500です。安いでしょう！

5月には松島ツーデーでもユースホステルを使いましたが、今ではどこに行っても歩けの大会の時には、歩けの人でいっぱいになっています。北総歩の皆さんも、機会が有りましたら使ってみてはいかがでしょうか。

特別例会 いちご狩りウォークに参加して

中山 祐子

集合時間の10時には、成田線小林駅へ30人ほどが集まり、案内して下さる村役場の課長さんを先頭に出発。天気予報が外れて空は高曇りで、心地よい風が早苗をそよがせていた。

1月の例会で来た白鳥の飛来地の前では課長さんより、これから白鳥の来る村としての観光行政のお話を伺う。本埜村公民館で土地の方達の心づくしの豚汁を戴きながらお弁当を食べ、申し込んでおいたトレトレの野菜や卵を分けてもらい、いよいよ苺狩りに行く。オーナーの方と挨拶の交換をして、甘い香りのハウスに入る。そろそろ収穫期も終わりとの話だったが、まだまだ美味しそうな真っ赤な苺が沢山なっていた。みんな大きい実はパックに詰めて、小さ目のものは次々に口に運び、パックもこれ以上もう入らなくなる頃、お腹も苺で一杯になり大満足という顔だった。「是非またこんな企画をしてもらいたいね」と言いながら野菜で重い袋を手を帰路についた。

還暦祝いはキナバル山に

我孫子市在住 渡辺肇幸

「ほゆう」編集担当の和田さんから、例会下見で会った時に「ほゆうに何か書いてくれ」と依頼されまして、昨年、マレーシア滞在中に登った山の事を書いてみたいと思います。

1 キナバル山

キナバル山は標高 4,100m マレーシアが誇る東南アジア最高峰の山で、サバ州（ボルネオ北部）にあります。マレーシアで生活する人々にとって、一度はキナバル山に登りたいと言う夢を持っている山です。私にもついにその機会がやって来ました。昨年 4 月上旬、いよいよ挑戦することになりました。

2 登る仲間

マレーシア在住邦人 5 名、日本から 3 名、計 8 名です。ミニバス乗車定員や登山ガイド規制を考慮して、8 名としました。男性 5 名、女性 3 名です。この内、頂上まで登る予定は男性のみで、67 才、65 才、62 才、60 才それぞれ 1 名の計 4 名です。

3 第 1 日

標高 1,850m 登山口を 8:30 に出発、ほんのわずかの下りの後、登り一辺倒の道が 3,350m の山小屋まで続きます。途中熱帯雨林から低灌木帯まで自然は移り変わります。日本では見られない食虫植物、しゃくなげの群落など見ながら、14:30 ラバンラタ山小屋へ到着しました。とにかく強烈な登りです。

当地規制で登山者は必ずガイドを雇うことになっています。私達のガイドは良く出来た人物で、我々の年令を考慮して、ゆっくりゆっくりのペース設定で、全員心配していた高山病にもかからず、第 1 日の日程を終了しました。山小屋は清潔、食事もまずまず、ビールも円換算 ¥270 と大満足の 1 日でした。

4 第 2 日

山小屋を早朝 2:30 に出発、急勾配の栈道を満天の星空と懐中電灯の明かりで進みます。灌木地帯を抜け花崗岩の岩盤をロープをつかみながら、トラバースし、更に高度を稼ぎます。約 1 時間半で最後の山小屋を通過、この地点で約 3,850m、空気も薄く、思うように体が動きません。疲労で、登るのをやめたくなるほどです。

キナバル南峰がうっすらと見えますが、最高峰 LOW'S PEAK はもっと先。マレーシアや欧米の登山者に混じり、忍の一字で登り続け、最高峰直下に到着しました。これから先は四つん這いで登ります。やっと頂上には 5:45 に全員が登頂出来ました。記念（証拠）写真を撮り、日の出を眺め、6:30 には下山開始、泊まった小屋で朝食、一気に下り 13:00 には登山口に到着しました。当日は戦争中に、旧日本軍が発見したといわれるポーリン温泉で骨休めをしました。

キナバル山は一応誰でも登れる山ですが、相当な脚力に加え、消化器官や呼吸器官もある程度強靱でないと頂上まで行くのは難しいかも知れません。地元の人々はこの山を大変誇りにしておりまして、道は険しいが整備されており、ちり一つ落ちていません。

60 才を過ぎて、標高 4,000m の山へ 1 人の落伍者もなく登ったという事は、何ものにも替えがたい喜びです。格好の還暦記念となりました。

◇◇ 新役員紹介 ◇◇

『長距離大好き人間です』

我孫子市在住 渡辺 肇幸

私のトレードマークは半ズボンと昼食時のポケットコンロでのコーヒー沸かしです。現在、歩行距離三万キロをやっと越えました。

長距離が好きで、東京～成田や青春 100 キロの常連でしたが、両方とも無くなってしまい残念です。代わりという訳ではないのですが、一人で霞ヶ浦や北浦を一周して楽しんでいます。最近のお勧めコースは、鹿島神宮・息栖神社・香取神宮を1日でまわる、「東国3社めぐり」(30キロ)です。

私にとってここ数年で最も記念すべきウォークは、東南アジア最高峰キナバル山(4,100m)登頂です。昨年4月6日、全員60才以上4名のメンバーで、1名の落伍者も無く頂上に立てた事は、何物にも替え難い喜びです。格好の還暦記念となりました。キナバル山はマレーシアの人々の誇りです。登山道は登り一辺倒の急勾配ですが、チリーつ落ちていません。山小屋の設備も良く清潔です。東京からは近く、飛行機5時間とバス2時間で、登山口に到着します。興味のある方はぜひどうぞ。情報を提供します。



『サンデー毎日となるのを機会に』

我孫子市在住 市川 操



入会5年目を迎えました。現役終盤に差し掛かった頃、週休完全2日制となり、意識的に体を動かそうと、手賀沼遊歩道を歩いたり、走ったりしておりました。其の時、市の広報で北総歩こう会の存在を知り、「継続するには」と入会させて戴きました。

最初は例会など近くばかりでしたが、「私鉄沿線ウォーク」や「みずウォーク」で自由歩行の味を覚え、昨年はJMLが中心となる有様でした。団体歩行は不得手ですが間もなくサンデー毎日となるのを機会に、勧められるままに役員を引き受ける事になった次第です。役に立てるか否か、勉強する事が多い訳ですが、宜しくご指導をお願い致します。

つれづれなるままに ①

茨城県利根町在住 林 義治

今年の白間津の花は2週間遅れだったのに、吉高の山桜は10日も早く開花していた。約束していた歩友の道案内も予定が狂い、慌ただしい一時を過ごした春であった。ハプニングと言えば、3月末の雪には驚かされた。七街道 walk の第2シリーズで、坊村なる滋賀県山中に居たが、30日朝からの降雪で、北国の冬景色もかくやあるらんと覚しき情景に出会い、午後4時頃湖西線安曇川駅ホームよりの真白き伊吹山は、富士山と見誤るばかりの美しさで、琵琶湖畔より再度眺むるに、先ほどの伊吹山は全く異なった姿にて見上げる感慨もまた一入。

幾年か花嵐の下を歩き続ける中に、幾重にも重なる思い出がまた増える。

<編集後記>

例会の時にハガキを渡して投稿を依頼した方々からは、たったの一枚も返事が来なかったが、84号は別の方々から6ページ編集に苦勞するほど原稿を戴いた。ご協力に感謝申し上げます。歩きのつれづれに気付いた事を、利根町の林さんがエッセイに…。 一歩遊人一

編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石6-187-43

Fax 0471-54-0170 & Eメール moon@mail.wics.ne.jp 常時
Tel 090-9298-3794 18:00~21:00 受付